

琉球大学学術リポジトリ

鳩間島の口承文芸研究

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加治工, 尚子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/40993

様式第13号

琉球大学大学院
人文社会科学部研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 大城 学

副査 赤嶺政信

副査 豊見山和行



学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	学生氏名	加治工 尚子
人文社会科学部研究科 比較地域文化専攻	主指導教員	大城 学
	副指導教員	赤嶺政信・豊見山和行
成績評価	合格	
論文題目	鳩間島の口承文芸研究	
審査要旨	<p>本論文は、八重山郡鳩間島の口承文芸の中から、①島建て伝承（フナヤギサマ像）、②「産神問答」と「炭焼き長者－再婚型」、③「病魔退散－報恩型」（ナーマヤー由来）、④カムラーマ、以上の4話を取りあげた。</p> <p>ところが、鳩間島での採集資料は断片的なものが多いため、従来の口承文芸研究の枠組みでは扱うことが困難であり、ゆえに八重山諸島の調査記録や研究報告を活用して補って考察を行っているが、それは功を奏しているといえる。</p> <p>その結果、例えば、①フナヤギサマの人物像について、鳩間島の伝承を紹介してその具体的なイメージの乏しさを示し、鳩間島、竹富島、石垣島平得の雨乞い歌を取りあげて検証し、フナヤギサマが島建てや井戸掘り、御嶽の創建に関わった人物であることを明らかにした。</p> <p>本研究の目的は、口承文芸だけを扱うものではなく、その伝承された地域の知識や考え方を導き出そうとするものである。そのために文献資(史)料を丁寧に読み込みながら口承文芸を手堅く検証して論述していることで、本論文は十分な成果をあげており、本審査委員会では博士の学位を授与せられる資格を備えていると判断した。</p>	

様式第 1 4 号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 大城 学

副査 赤嶺政信

副査 豊見山和行



最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	学生氏名 加治工 尚子
人文社会科学研究科 比較地域文化専攻	主指導教員 大城 学 副指導教員 赤嶺政信・豊見山和行
成績評価	合格 不合格
審査要旨	<p>副査・赤嶺政信の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目について口頭による最終試験を行った。本論文題目は「鳩間島の口承文芸研究」である。</p> <p>以下の3点を軸に試験を行った。</p> <p>まず、口頭試問での関連質問を行い、本論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本論文に関連する基礎的な専門知識や自らの論文の研究上の位置づけを問い、研究上の貢献があったことを確認した。そして、本論文で取りあげた研究分野に係る授業科目「琉球文学芸能特論」「琉球文学芸能演習」「琉球近世史学特論」「沖縄民俗文化論特論」「沖縄民俗文化演習」「比較地域文化特別研究」などの視点から、学位に相応しい研究能力とその学識を有していることを確認した。</p> <p>以上の点から、本審査委員会は、本論文に加え、その分野における学位の水準に達していると認め、最終試験に合格と判断した。</p>